



シートベルトは全席着用 — 後部座席も忘れずに！ —

運転者及び助手席同乗者のシートベルトの着用率は年々向上し、昨年全国で実施した調査では

	一般道路			高速道路		
	運転者	助手席同乗者	後部座席同乗者	運転者	助手席同乗者	後部座席同乗者
高知県	97.7%	90.7%	37.2%	99.6%	97.7%	80.4%
全国平均	98.2%	93.9%	35.1%	99.5%	98.1%	70.3%

となっており、運転者、助手席同乗者ともに9割以上の方が着用していますが、一般道路の後部座席同乗者の着用率は3割台と、依然として低い数字を示しています。

シートベルトは、交通事故に遭った場合、

- ◆車内での二次衝突を防止・軽減する
- ◆危険な車外放出を防止する
- ◆正しい姿勢は、疲労を軽減し、動体視力などの低下を防ぐ

など、様々な効果がありますので、乗ったら必ず着用しましょう。



■子どもにはチャイルドシートを

カーブ走行中や急ブレーキ時に座席から子どもが転落し、けがをするという車内事故が少なくありません。また、車が衝突したとき、大人がいくら強く抱っこしていても、子どもを支えることはできません。

※体重10キロの子どもを抱っこしていた場合、時速40キロで衝突した瞬間には、体重の約30倍（300キロ）の衝撃が腕にかかります。

幼児（6歳未満）には、体型に応じたチャイルドシート（幼児用・児童用など）を使用しましょう。



集中豪雨に備えよう



- 天気予報を確認して、気象の変化に関心を持つ
- 地域の防災訓練へ積極的に参加する
- 市町村からの避難情報に注意する
- 最寄りの避難場所を確認しておく

日ごろからの備えを万全にして、災害から身を守りましょう。

不法滞在者の発見にご協力を

日本国内における、不法滞在外国人は、法務省の発表（平成27年1月1日現在）で、

60,007人

とみられています。

不法滞在外国人の多くは、日本での経済的利益を得ることを目的としており、これらの者の中には、金銭を得るため、身分や資格を偽って不法に就労し

たり、窃盗等の犯罪に手を染めたりする者もいます。不法滞在外国人は

- 滞在すること自体が違法行為である
- 日本で生活するために、更に違法行為を行う
- 一部の者が集団化して、悪質な犯罪を引き起こす

など、地域の安全を脅かしています。

もし不審な外国人を見かけたら、最寄りの警察へお知らせください。

特殊詐欺（振り込め詐欺等）に警戒注意！

4月以降、県内の高齢者方へ「医療費の還付金があります。今すぐ量販店のATMに行ってください」などという医療費の還付金名目の詐欺や「あなたが老人ホームの入居権に当選しました。入居の権利を東北の被災者に譲ってください」という老人ホーム入居権譲渡名目の詐欺、警察官をかた

る者から「あなたの財産を守るため電話しています。□座番号を教えてください」などという特殊詐欺の予兆電話が多数かかっています。

少しでもおかしい電話と感じたら、振り込む前に警察署や駐在所に連絡してください。

